

種名	フキ Petasites japonicus 					
	分類	被子植物双子葉植物綱キク科	俗称		生活型	多年草
分布	本州～沖縄、朝鮮、中国に分布する。					
形態	雌雄異株。根茎が地中のび、地上には葉と花茎のみをだす。葉は腎臓状円形で大きく、幅 30 cmにたっし、質は薄く、多肉質の長い葉柄がある。					
類似種						
生息場所	山野の土手や路傍に普通にはえる。野菜として栽培される。					
繁殖	花期は 3～5 月、大型の鱗片葉を多数つけた花茎を地上にあげ、これをフキノトウとよび、葉柄とともに食用とする。頭花は花茎の先に集まって咲き、総苞は長さ 5 mm。雄性小花の花冠は筒状で黄白色、雌性小花の花冠は痕跡的で白色。雌株の花茎のみ花後伸長し、高さ 30～40 cmにおよぶ、瘦果には長さ 12 mmほどの白色の冠毛がある。					
他生物との関係						
配慮のポイント						
引用文献：『改訂新版 世界文化生物大図鑑 植物Ⅰ 双子葉植物』を改変						